

野洲市こども計画策定に向けたアンケート調査案 概要一覧

問NO				内容	趣旨
小学生	中-高校生	若者	保護者		
1	1			学校以外での学習方法	現状の学力に関する設問。保護者の経済状況とのクロス集計により、経済状況が子どもの学力に与える影響を把握できる。
2	2			学校以外での学習時間	
3	3			授業への理解度	
3-1	3-1			授業についていけなくなった時期	
	4			進学希望	進学希望に関する設問。保護者の経済状況・最終学歴とのクロス集計により、経済状況や保護者の学歴が子どもの進学希望に与える影響（貧困の連鎖の背景となる状況）を把握できる。
	4-1			進学希望の理由	
4	5			部活動等の参加状況	多様な体験活動のひとつとしての部活動等の参加状況に関する設問。
4-1	5-1			部活動等に参加していない理由	
5	6			食事の頻度（欠食の頻度）	食事の状況に関する設問。経済状況等とのクロス集計を想定。
6	7			家族の会話	平日の家族の会話時間の長さに関する設問。
7	8			睡眠のリズム	生活リズム（就寝時間）に関する設問。保護者の就労状況とのクロス集計を想定。
8	9			休日の過ごし方	余暇の過ごし方に関する設問。家庭で多様な体験をしているか把握できる。
9	10	11		相談相手の有無	相談相手の有無に関する設問。相談相手のいない孤立状況にある割合が重要。
10	11			家事・家族介護への参加状況	ヤングケアラーに関する設問。ヤングケアラーに定義がないため、ヤングケアラーを特定することはできないが、家族のケアのために進路をあきらめる子どもなど深刻なケースの有無が把握できる。
10-1	11-1			家事・家族介護への参加によりできなくなっていること	
11	12	8	14	現在の生活への満足度	子どもの自己認識等に関する設問。経済状況とのクロス集計により、貧困が子どもの自己肯定感や幸福感に与える影響を把握できる。
12	13	7		自己肯定感、人生への意識等	
13	14	13		将来の展望	
14	15			子どもの意見聴取の状況（大人）	子どもの意見聴取についての、子ども側の認識に関する設問。子どもの権利に関する指標にできる。
15	16			子どもの意見聴取の状況（学校）	
16	17	9		家・学校以外の居場所の有無	子どもの居場所についての設問。居場所の有無やその詳細を把握できる。
16-1	17-1	9-1		家・学校以外の居場所の内容	
16-2	17-2			家・学校以外の居場所への希望	
17	18			インターネット利用時間	インターネットの利用状況についての設問。居場所の有無とのクロス集計により、影響を把握できる。
17-1	18-1			インターネット利用にかかる弊害	
	19	18	15	プレコンセプションケアの認知度	妊娠等に関する知識の普及の実態として、プレコンセプションケアの認知度を把握する。
18	20	19		野洲市への思い	野洲市への思いに関する設問。指標に活用可能。
18-1	20-1	19-1		野洲市への肯定的な思いの理由	
18-2	20-2	19-2		野洲市への否定的な思いの理由	
19	21		4	回答者の通学中の学校（中学生のみ）	属性に関する設問。
20	22	2	2	回答者の同居状況	
21	23	20	19	自由回答	自由回答。
		1		回答者の年齢	属性に関する設問。
		3(1)		生計維持者	
		3(2)		生計維持者の収入源	
		4	6	家庭の主観的な経済状況	主観的経済状況に関する設問。学歴等とのクロス集計を想定。
		5		回答者の最終学歴	学歴に関する設問。属性として他設問とのクロス集計を想定。
		6	3	回答者の就学・就業状況	属性に関する設問。
		10		孤独感	孤立感に関する設問。ひきこもり等とのクロス集計を想定。
		12		社会貢献への意欲	社会貢献意識に関する設問。ひきこもり等とのクロス集計を想定。
		14		家族以外の人との会話の有無	ひきこもりの判定、現状把握に関する設問。
		15		外出頻度	
		15-1		現在の外出頻度になった時期	
		15-2		現在の外出頻度になった年齢	
		15-3		現在の外出頻度になった理由	ひきこもり・予備群から改善した経験のある人から、支援ニーズを把握する設問。
		16		社会生活の課題の改善経験	
		16-1		社会生活の課題の改善理由	
		17		社会生活の課題改善に必要な相談相手	
		17-1		社会生活の課題について相談したくない理由	属性に関する設問。
			1	子どもとの続柄	
			5	世帯年収	貧困の判定に関する設問。世帯年収と世帯構成人数から貧困世帯を判定。
			7	子育てに関する悩み	子育ての悩みの内容に関する設問。
			8	子どもの現実的な最終学歴の理由	子どもの進学への思いに関する設問。保護者の学歴や経済状況とのクロス集計により、貧困の連鎖の背景となる状況を把握できる。
			8-1	子どもの現実的な最終学歴の理由	
			9	特定の内容に関する相談相手の有無	相談相手の有無に関する設問。相談相手のいない孤立状況にある割合が重要。
			10	食料を買えなかった経験	生活困窮の実態に関する設問。
			11	衣類を買えなかった経験	
			12	公共料金を支払えなかった経験	
			13	子育てをしているときの気持ち	子育て中の気持ちに関する設問。経済状況や世帯構成とのクロス集計を想定。
			16	子どもの遊び場への満足度	子どもの遊び場の具体的なニーズに関する設問。昨年度の子育て支援会議の指摘等を踏まえ、設定。
			17	子どもの遊び場へ感じること	
			18	中高生の遊び場への要望	子どもの体験活動に関する設問。体験活動の重要性に関する保護者の実感を把握できる。
			19	子どもの体験活動に思うこと	